

第 12 回反応性プラズマ国際会議／
第 44 回プラズマプロセッシング研究会
(ICRP－12／SPP－44)

協 賛 趣 意 書

ICRP－12／SPP－44 国際組織委員会

ご挨拶

反応性プラズマ国際会議 (International Conference on Reactive Plasmas : ICRP) は、1991 年に応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会の主導により創設されて以来、継続的に開催されてきた国際会議です。第 1 回は名古屋にて開催され、第 2 回は横浜 (1994 年)、第 3 回は奈良 (1997 年) で開催されました。直近では、第 11 回 ICRP が 2022 年に仙台にて開催されました。また、これまでの ICRP の一部は国際共同会議として開催されてきました。第 4 回は 1998 年にマウイ島にて Gaseous Electronics Conference (GEC) と、第 5 回は 2002 年にグルノーブルにて Europhysics Conference on the Atomic and Molecular Physics of Ionized Gases (ESCAMPIG) と、第 7 回は 2010 年にパリにて GEC と、第 9 回は 2015 年にホノルルにて GEC と、第 10 回は 2019 年に札幌にて International Conference on Phenomena in Ionized Gases (ICPIG) と、そして第 11 回は 2022 年に仙台にて GEC との合同会議として開催されました。

プラズマプロセッシング研究会 (Symposium on Plasma Processing : SPP) は、1984 年以来、応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会により毎年開催されてきた国内会議です。ICRP と SPP の合同開催は、反応性プラズマおよびその応用に関わる多様な分野の研究者・技術者が一堂に会し、国際的な枠組みのもとで情報やアイデアの交換を促進することを目的としています。

本会議で取り扱う主題は、反応性プラズマの全領域ならびに、表面改質、エッチング、成膜などの各種材料プロセスへの応用です。特に、基礎現象、関連技術、およびそれらを支える基礎物理・化学に重点を置いています。本会議では、プラズマそのものの基礎特性、プラズマの生成および制御、プラズマ中の基礎過程、ならびにプラズマと固体・液体との相互作用、ならびにそれらを利用した応用技術に関して深い議論がなされます。こうした基礎から応用までをカバーした反応性プラズマに関する深い理解は、現代ならびに今後の社会に必要不可欠となっている半導体デバイス製造プロセスをはじめとする様々な重要技術の発展に必須であり、本国際会議はそのための重要な討議の場となっています。

さらに近年では、バイオ・医療・農業・環境保全へのプラズマ応用に関しても目覚ましい展開がなされており、反応性プラズマは SDGs 達成に資する重要な研究対象となっています。また、AI を駆使した新たな取り組みも始まっています。こうした近年の動向を踏まえ、今回の第 12 回反応性プラズマ国際会議 (ICRP-12)・第 44 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-44) 合同会議では、今後の展開が期待されるデータ駆動型プラズマ科学・技術、プラズマ種子科学、ダイヤモンド及び関連材料に関する特別セッションも計画されており、本会議が、反応性プラズマ分野のさらなる発展と国際的な学術交流の一層の深化に寄与するものと期待しています。

つきましては、大変恐縮ではございますが、本国際会議の趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

第 12 回反応性プラズマ国際会議／第 44 回プラズマプロセッシング研究会
国際組織委員長 白藤 立
(大阪公立大学 大学院工学研究科 電子物理系専攻 教授)

開催概要

1. 会議の名称

和文名 第12回反応性プラズマ国際会議／
第44回プラズマプロセッシング研究会
英文名 12th International Conference on Reactive Plasmas/
44th Symposium on Plasma Processing
略称 ICRP-12 / SPP-44

2. 主催機関等の名称

- (1) 主催 ICRP-12/SPP-44 国際組織委員会
(2) 共催 (公社) 応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会
(3) 後援(予定)

応用物理学会	日本化学会	電気化学会
電気学会	電子情報通信学会	放電学会
プラズマ・核融合学会	化学工学会	表面技術協会
日本表面真空学会	静電気学会	日本 MRS
日本物理学会	日本機械学会	

3. 開催期間

2026年11月29日(日)～12月3日(木)の4日間

4. 開催場所

金沢市文化ホール (〒920-0864 金沢市高岡町15番1号)

5. 会議開催の目的

反応性プラズマを利用したプラズマプロセスは、薄膜電子デバイスの製造、半導体集積回路の超微細加工、ナノテクノロジーやバイオテクノロジー等に関わる新素材の創製、環境科学等における基盤技術として発展しています。本国際会議は、プラズマプロセスに関連する諸現象を物理・化学的観点から基礎的に解明し、複雑な反応性プラズマを制御する手法を学術的に確立することを主眼とすると共に、これを基にした最先端のプラズマ応用について、国内外の第一線の研究者による講演、研究発表、討議を行います。これにより、この分野の一層の発展を期するとともに、プラズマプロセスに係わる研究者の国際的な連携を強めます。

6. 会議計画の概要

(1) 会議の構成(予定)

招待講演	約 45
一般講演 口頭発表	約 60
ポスター	約 300

(2) 会議論文集等

会議の Proceedings を発行します (HP にて掲載予定)。また、発表論文の一部を Japanese Journal of Applied Physics (JJAP) の特集号“Plasma Processing”として刊行する予定です。

(3) 会議使用言語

会議の公用言語は英語とします。

(4) 参加予定国・参加予定者数

参加予定国は、日本、アメリカ合衆国、カナダ、ヨーロッパ (英、仏、独、伊、蘭ほか)、オーストラリア、アジア (韓国、中国、台湾、インドほか)、ロシア等であり、参加人数は“350 名 (うち国内 250 名)”を想定しています。

8. 本件に関する連絡先

ICRP-12/SPP-44 運営事務局

〒930-0004 富山県富山市桜橋通り 2-25

Tel: 076-471-0744 Fax: 076-471-0745

e-mail: icrp12@pcojapan.jp

URL: <https://smartconf.jp/content/icrp12/>

ICRP-12 / SPP-44 委員名簿

(国内委員：50 音順, 国外委員：アルファベット順)

◇国際組織委員会 (International Organizing Committee)

	氏名	所属
委員長	白藤 立	大阪公立大学
副委員長	古閑 一憲	九州大学
	赤塚 洋	東京科学大学
	伊藤 昌文	名城大学
	金子 俊郎	東北大学
	石川 健治	名古屋大学
	佐々木 徹	長岡技術科学大学
	神野 雅文	愛媛大学
	節原 裕一	大阪大学
	竹内 希	東京科学大学
	伝宝 一樹	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社
	朽久 保文嘉	東京都立大学
	富田 健太郎	北海道大学
	深沢 正永	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
	福水 裕之	キオクシア株式会社
	Achim von Keudell	Ruhr University Bochum, Germany
	Anthony Murphy	CSIRO
	Deborah O'Connell	Dublin City University
	Dingxin Liu	Xi'an Jiaotong University
	Eun Ha Choi	Kwangwoon University
	Hae June Lee	Pusan National University
	Karol Hensel	Comenius University
	Meng-Jiy Wang	National Taiwan University of Science and Technology
	Peter Bruggeman	University of Minnesota
	Rémi Dussart	GREMI - University of Orleans - CNRS
	Sander Nijdam	Eindhoven University of Technology
	Stamate Eugen	Technical University of Denmark
	Wonho Choe	Korea Advanced Institute of Science and Technology
オブザーバー	田中 康規	金沢大学
オブザーバー	石島 達夫	金沢大学

所要経費概算

(1) 収入の部

科目	金額（千円）	備考
参加登録費	11,500	一般会員：40,000 円×150 人 一般非会員：50,000 円×50 人 学生：20,000 円×150 人
懇親会費収益	600	懇親会 5,000×120 名
石川県・金沢市補助金	2,300	石川県補助金：1,400,000 円 金沢市補助金：900,000 円
応用物理学会プラスマエレクトロニクス分科会協賛金	5,000	
寄附金	500	
ゴールドスポンサー(5 社)	1,000	200,000 円×5 社
シルバースポンサー(10 社)	1,500	150,000 円×10 社
ブロンズスポンサー(15 社)	750	50,000 円×15 社
その他	1,455	
合計	24,605	

(2) 支出の部

科目	金額（千円）	備考
会場費	4,150	金沢市文化ホール
会議費	600	委員会等
機材費	2,000	
看板費	1,700	
懇親会費	3,520	
旅費	2,000	
印刷製本費	1,020	Proceedings, Announcements, プログラム集
事務局費	7,015	
軽食費	2,100	
JJAP 特集号関連費用	500	
合計	24,605	

寄附

1. 目的

開催に関する準備および開催運営資金

2. 目標金額

500,000 円

3. 寄附金受付期間

2026 年 9 月 15 日(火)

4. その他

ご寄付をいただいた場合は、本会プログラム集の閲覧権限の進呈を予定しております。

5. 申込方法

申込期限までに、右記 QR コードまたは下記 URL よりお申込みフォームへアクセスし、申込みを完了してください。後日、運営事務局よりご連絡させていただきます。

URL : <https://forms.office.com/r/LyHAa8xwJm>



6. 申込後の取り消し

お申込み後の取り消しは原則として受け付けません。

7. 振込について

申込受付後、担当者様へ振込先の情報をご案内いたします。

パッケージスポンサー募集について

1. 募集一覧

	ゴールド (税込 200,000 円)	シルバー (税込 150,000 円)	ブロンズ (税込 50,000 円)
HP リンク付きバナー掲載	○	○	○
プログラム集 広告掲載 1 頁	○	○	○
企業展示 1 小間	○	○	
幕間動画・スライド放映	○	-	-
懇親会無料招待 1 名	○	○	-

2. 募集数

- ゴールドスポンサー：5 社
- シルバースポンサー：10 社
- ブロンズスポンサー：15 社

3. 申込方法

下記お申込みフォーム URL または QR コードよりお申し込み下さい。
後日、運営事務局よりご連絡を差し上げます。

URL : <https://forms.office.com/r/LyHAa8xwJm>



4. 申込締切日

2026 年 9 月 15 日(火)

5. お支払いについて

お申込みを確認後、事務局より請求書を送付いたします。
請求書記載の口座に、期日までにお振込みいただきますようお願いいたします。
請求期日は請求書発行日の翌月末といたします。期日の変更をご希望される場合は、お申込み時にお知らせください。なお、誠に勝手ながら振込手数料は貴社負担にてお願いいたします。

6. 注意事項

- ・協賛受付後のキャンセルは、原則受け付けません。お支払いいただいた協賛金の返却はいたしませんのでご了承ください。
- ・主催者は天災、不可抗力またはやむを得ない事由により、本大会の開催期間および時間を変更、又は開催を中止する場合があります。主催者はこれによって生じた損害を補償いたしません。大会開催を事前に中止した場合には返金いたしますが、出展者側がそれまでに要した費用は各社の負担となります。
- ・出展物の管理は各出展者が責任を追うものとし、盗難、紛失等の損害について主催者は補

償を含めた一切の責任を負いかねますので、各社にて保険に加入するなどの措置をとってください。出展者の行為により事故が発生した場合は、当該出展者の責任において解決するものとし、主催者はこれに対し一切の責任を負いません。

HP バナー掲載について

1. 掲載場所

ICRP-12/SPP-44 ホームページ
(ロゴにはご希望の URL をリンクいたします)

2. バナーデータ提出について

- ・ ファイル形式：JPG/PNG/PDF/AI ※GIF アニメ・無限ループ不可
データと併せてご希望の URL をお送りください
※AI/PDF データは、フォント埋め込み済みの状態で提出ください。
- ・ データサイズ：1MB 以下
- ・ 申込および原稿締切：2026 年 9 月 15 日(火)
- ・ 提出先：ICRP-12 運営事務局 (icrp12@pcojapan.jp)
- ・ その他：余白など最終レイアウトは運営事務局にて調整いたします。
掲載順番は運営事務局にて決定いたします。
ロゴの掲載は、協賛金の振込確認後となります。

プログラム集広告掲載について

1. 概要

- ・ 発行予定日：2026 年 11 月(予定)
- ・ 配布先：ICRP-12 / SPP-44 参加者
- ・ 版 型：A4 版
- ・ 発行部数：400 部(予定)

2. 広告版下提出について

提出期限：2026 年 9 月 15 日(火)

データ仕様：A4 モノクロ

原稿は、Illustrator・Photoshop 形式または、PDF ファイル(完全版下)にてご提出ください。フォント崩れを防ぐため、文字は必ずアウトライン化していただきますようお願いします。

広告言語：英語推奨

提出先：ICRP-12 運営事務局 (icrp12@pcojapan.jp)

企業展示について

1. 概要

- ・ 展示会場 : 金沢市文化ホール 2階 (予定)
- ・ 搬入・設営 : 2026年11月29日(日) 14時～18時 (予定)
- ・ 展示期間 : 2026年11月30日(月) 9時～12月3日(木)13時 (予定)
- ・ 搬出・撤去 : 2026年12月3日(土) 13時～15時 (予定)

2. 基礎小間について

- ・ 間口 1,800 mm×奥行 900 mmのスペース
- ・ 展示机 (W1,800 mm×D450 mm×H700 mm) ×1 台
- ・ バックパネル (W1200 mm×H2,100 mm) ×1 枚
- ・ 社名版 (W900mm×H200mm) ×1 枚
- ・ コンセント 2 口、電力 500W

3. 小間割の決定

- ・ 出展の申し込み締め切り後、学会事務局が決定いたします。
- ・ 配置場所のご要望は、お受けする事が出来かねますので予めご了承ください。

4. その他オプション、電気使用について

- ・ 出展料に含まれるもの以外の装飾、500W を超える電気使用など一切は出展者各位でご負担いただきます。
- ・ オプションでお申込みいただいたものは、会期終了後に運営事務局よりご請求させていただきます。

幕間動画・スライド放映について

1. 上映場所

ICRP-12/SPP-44 会場スクリーン

2. 上映時間

セッションブレイク中

3. 形式

動画の場合：MP4、1 分以内にしてください

スライドの場合：スライドは 16:9 で作成してください

※画質及び音量等、運営事務局にて調整することがあります。ご了承ください。

※上映順番は主催者にて決定いたします。

4. 提出について

提出締切：2026 年 9 月 15 日(火)

5. 動画提出先

提出先：ICRP-12 運営事務局 (icrp12@pcojapan.jp)